ミュージアム都留企画展

郡内村絵図展―絵図にみる人々の暮らし―

村絵図には、作製された目的によって、表現方法に違いが見られます。

例えば、大幡村(現在の都留市大幡)を記した村絵図を見てみると、「甲斐国志」の編さん資料として提出されたもの(写真1)は、村内の道路や寺社、字(あざ)名などを中心に記していますが、「入会(いりあい)絵図」と呼ばれるもの(写真2)は、村を取り巻く山林の利用について詳細に記しており、村人と山との結びつきを示すものとなっています。

このように、さまざまな目的によって作製された村絵図は、単に村の視覚的な様子だけでなく、そこに住んでいた人々の暮らしを知るうえで、貴重な資料であるといえます。

写真1　大幡村絵図
文化3年(1806)(都留市蔵)

写真2　大幡村入会絵図
年不祥(個人蔵)

会　　期　6月25日(日)まで
開館時間　午前9時～午後4時30分
(入館は4時まで)
観 覧 料　一般　300円(210円)
高・大学生　200円(140円)
小・中学生　100円(70円)
(　)内は20名以上の団体料金です。
休 館 日　月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し翌日が休館)、第三火曜日、祝日の翌日
※増田誠美術館と共通券です。

問合先　ミュージアム都留　☎(45)8008

★ミュージアム寺子屋事業のご案内

古文書教室
主としてミュージアム都留所蔵の古文書の中から標本的なものを選び、歴史的社会背景を踏まえながら解読を試みます。
講　師　武井一郎氏　清水正賢氏
開催日　6月11日・7月9日・8月13日・9月10日・11月12日・12月10日

郷土教室
○歴史講座
昨年に続いて「『勝山記』を読む」をテーマに、都留郡に関する人物とその動向を探ります
講　師　内藤恭義氏
開催日　6月25日・7月23日

○民俗講座
年中行事・風俗習慣・冠婚葬祭・民間信仰・伝承などに視点をあて、伝統的な生活文化の理解を図ります。
講　師　安富一夫氏
開催日　8月27日・9月26日・11月26日・12月17日

開催場所・開催時間
古文書教室・歴史講座・民俗講座ともに、ミュージアム都留研修室
午前10時～11時30分まで
※参加料は無料です。

増田誠美術館収蔵作品展

「増田誠が描く水の世界」　開催中！

会　期　6月18日(日)まで
会　場　増田誠美術館(ふるさと会館2階)

増田画伯はフランス画壇で「水のマスダ」の異名をとるほど、「水」の描写を大変得意としました。「たらし込み」という技法を用い、より透明感溢れる瑞々しい水面を表現しています。ノルマンディー地方の漁港であるオンフルールは「水のマスダ」を象徴する作品であり、船影や町並みが水面に映える様は画伯特有のものであり大変美しく描かれています。

今回はそんな「水」をテーマにした作品を中心に展示しております。

パリの様々な町並みとともに増田画伯が描く「水」の風景をぜひご覧ください。

オンフルール